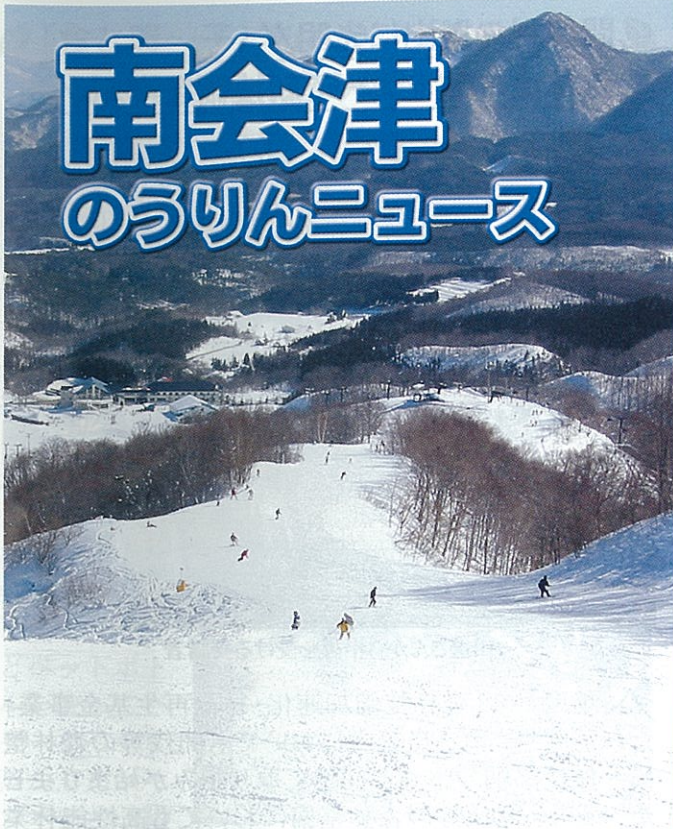


南会津 のうりんニュース



今月の写真：だいくらスキー場(南会津町田島地域)

今年ももうあとわずか！南会津でもまとまった降雪があり、スキー場が次々とオープンしています。

昨年は、雪が少なく大変でしたが、今年はどうでしょうか。南会津の良質な雪で観光客を呼び込みましょう！

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・三瓶藤助さんが只見町初の「緑白綬有功章」を受賞!!
 - ・米粉deシチュー♪
 - ・間伐材の搬出に光明!!
 - 森林土木セミナーで新技術を学ぶ!!
 - ・「食と農～子どもとの絆づくり」
 - 森林と大地の恵み体験ツアー!!
 - ・田んぼの学校もついにまとめ!!
 - 二小の米らで収穫祭!!
- 今月のコラム
 - ・加藤谷川(下郷町)の周辺
- お知らせ
 - ・あなたも認定農業者になりませんか？

平成21年12月18日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

三瓶藤助さんが只見町初の 「緑白綬有功章」を受賞!!



栄えある章を受けた三瓶さん

只見町大倉の三瓶藤助さん(72)が、(社)大日本農会主催の第93回農事功績表彰で、「緑白綬有功章」を受賞されました。これは、農業の経験や知識の交流を通じて農事の改良発展に大きな貢献をされた農業者を表彰するもので、管内では平成6年以来の快挙、只見町では初の受賞です。

大日本農会は明治14年に設立された日本で最も歴

史ある全国的な農業団体で、桂宮宣仁親王殿下を総裁に推戴しています。

三瓶さんは、中山間地域において、養蚕や畜産などをとおして経営改善を図るとともに、県指導農業者や地域のリーダーとして多くの新技術を導入しながら農業振興に努められてきたことや南郷トマトなどの園芸産地の振興、更には、若い農業後継者の育成に尽力されたことなどの功績が高く評価されました。

去る11月18日、東京都港区の石垣記念ホールで行われた表彰式に参列された三瓶さんは、「これからも若い農業者を育成していきたい」と抱負を述べられていました。今後の益々のご活躍を期待いたします。

(農業振興普及部)

米粉deシチュー♪

最近よく耳にする「米粉」。どんな料理やお菓子に使える??等、家庭メニューへの普及を目的にJA会津みなみ主催の「米粉料理講習会」が開催されました。

11月18日は御蔵入交流館で、翌19日は南郷保健福祉センターと

2日間にわたり、講師に(株)ジェイエイあぐりすかがわ岩瀬企画管理部チーフ澤山聖美さんをお迎えして、米粉を使ったメニュー



講習を受ける参加者

4品を教えてくださいました。澤山さんは、今年度の農林水産省「地産地消の仕事人」として、全国42人の中の1人に選定された方です。今回お忙しい中、講師を引き受けてくださいました。

各会場とも定員30名のところ申込が多く、お断りをした方も…。南会津でも「米粉」について関心が高いことがうかがえました。

当日は、まず、農林事務所担当から「米粉」についてのミニ講座。その後、澤山さんへバトンタッチし、ジェイエイあぐりすかがわ岩瀬直売所「はたけんぼ」からお持ちいただいた「米粉」について、製粉工程を含めて



熱心に指導する澤山さん(写真中央)

の紹介をしていただき、料理講習へと入りました。参加された方々は、澤山さんの説明に沿いながら、手際良く着々と4品のメニューを完成させました。

その後は、澤山さんを囲んで和やかに会食&懇談会へ。参加者全員から、一言ずつ感想などをお話いただきましたが、「使いやすかった。シチューの手軽さにビックリ」「これと同じ米粉は、どこで手に入るのか?」「代表で講習会に来たので、帰って地域の方に伝達講習をしたい」等、大変好評を得ました。後片付けの後も澤山さんへ質問する方がいる等、皆さんには有意義な時間を過ごしていただけたようです。

今後、JA会津みなみでは「レシピ集」を発行することを検討しているそうです。みなさんも是非!米粉メニューにチャレンジしてみませんか?

(農業振興普及部)

料理講習会メニュー

- 米粉のシチュー
- 米粉の豆腐ハンバーグ
- 米粉のニョッキ



- ハーブ味噌&米粉クッキー



間伐材の搬出に光明!!

森林土木セミナーで新技術を学ぶ!!



田邊さんから指導を受ける受講者

今年度から「森林整備加速化・林業再生基金事業」が創設され、当管内においても間伐等の森林整備と作業路網の整備に向けて取り組みが始まりました。最近、間伐等の森林整備においても高性能林業機械が普及してきており、集材、玉切り、搬出等の機械化により作業効率の向上が図られています。しかし、これらの機械を効率よく使用するためには、林内における適正な作業路網の整備が必要不可欠です。

このため農林事務所、(社)福島県林業協会、南会津森林土木協会が連携して、作業道開設等研修の森林土木セミナーを開催しました。

1回目は、10月26日～27日に地域の中核となる8名のオペレーターを管外まで引率し、高性能林業機械による造材、集材等の実践的な訓練を実施しました。

2回目は、11月16日～17日に下郷町大倉地区において、「低コスト」「自然災害に強い」「山を傷めない」作業道として全国で注目されている「四万十式作業道」の開設手法について、考案者の田邊由喜男さんを招いて実施しました。これまでの一般的な作業路開設とは異なる①山側の切土高を低く抑えて、谷側には伐根や表土により早期緑化・安定を図る②地山部の掘削と天地返しにより路盤部の土質を均等にして転圧する③丸太とワイヤー組み合せた工法、等を現地で学習しました。

参加者22名からは、「通常は地山を掘削しないのに、これは新しい工法である」「谷側への落石がほとんどない」「支障木を極力伐採しなくても作業路が開設できる」「自分達にも作業は可能である」と大変好評でした。今後、当森林林業部では「低コストで支障木伐採を極力抑えた山を傷めない作業路開設」と「間伐の推進及び間伐材の利用促進による森林所有者への還元」について森林所有者にPRし、南会津地方の山づくりを進めていく予定です。

(森林林業部)

「食と農～子どもとの絆づくり」 森林と大地の恵み体験ツアー!!

南会津の食や自然、農林業と親しみ、理解を深めるため、11月1日下郷町で交流会を開催しました。3回目の今年は、親子など県外も含む22人が参加しました。

鶴ヶ池集落の金子牧場(酪農教育ファーム※1認定)では、放牧された牛たちが参加者を迎えてくれました。金子政彦場長とファシリテーター※2金子政委さんの指導により、参加者が子牛に触れたり、聴診器で心音を聴いたりしました。また、「牛のからだ」「人間と牛のかかわり」に

ついて、紙芝居を見ながら学びました。さらに、生乳とペットボトルを使ってバターをつくり、蒸かしたジャガイモと一緒に味わった後、



心臓の音、聴こえるかな?

加藤谷川流域活性化協議会より、鶴ヶ池特製!生キャラメルをお土産にもらいました。

お昼は「恵みのランチ!」。十文字直売組合が中心となり、心を込めて作った地産地消キノコ汁、会津地鶏の焼鳥とおにぎりを小春日和の野外で食べました。「地鶏の身が締まっていて、野菜たっぷりのキノコ汁もおいしい!」との感想が聞かれました。



間伐した林の見学学習

学習しました。

最後は、いいた 渡部善一みつかどさんに、キノコの種類や栽培方法(原木と菌床の違い)などのお話を聞きました。地球温暖化の影響で栽培時期や適地が少しずつ変化していて、販売にも変動があるそうです。参加者からは、栽培方法や購入について活発な質問が出されました。

新型インフルエンザなどの影響により欠席者も出ましたが、埼玉県から宿泊で参加した方もおり、好天に恵まれ、親子らが休日をはりのびと過ごす姿が印象的でした。

午後は、森林環境税を使って間伐した南倉沢地区の林を見学しました。付近の間伐していない林と見比べながら、税の目的と使い道について解説を聞き、森林の大切さを

酪農やキノコ栽培の実際を見ながら、生産者のお話を熱心に聞き、食と農林業の理解につながったことと思います。日々の生活で折に触れて思い出してくれることでしょう。



ナメコ「N2号」ってどんな感触??

(企画部・農業振興普及部・森林林業部)

※1 酪農教育ファーム:「酪農体験を通して、食といのちの学びを支援する」ことを目的に、一定の基準を満たし(社)中央酪農会議が認証した牧場。

※2 酪農教育ファームファシリテーター:一定の研修会を受講し情熱を持って教育ファーム活動を行う酪農家。

田んぼの学校もついにまとめ!! 二小の米らで収穫祭!!

△ まで1年間に渡り活動してきた南会津町立南郷第二小学校での「田んぼの学校」もいよいよ終わりを迎えます。春先のビオトープ作りから、一生懸命行ってきた二小の児童は、これまでの取組みを11月14日の「ヒメコマツ発表会」の中で、寸劇にして保護者の方々の前で発表しました。

苦労しながら作ったビオトープ、野良着での田植え体験、生物調査、稲刈り・脱穀(南会津のうりんニュース平成21年6、8、10、11月号参照)を見事にまとめ、観客からは大きな拍手があがりました。

その後、保護者とともに収穫したもち米(コガネモチ)を使って餅つきを行い、きな粉餅やつゆ餅にいただきました。児童からも、「美味しい!」「自分で作った米が喜ばれて嬉しい!」等の感想も聞かれ、食と農の絆について、子どもながらに感じていたようでした。

閉会式では、今年収穫したもち米が、児童の手で「二小の米ら」としてパッケージ化され、田んぼの応援団のみなさんへ感謝の気持ちを込めて手渡されました。

児童のみんな!将来も美味しいお米を作ってくれることを期待してるよ♪

(企画部・農村整備部)



育てたお米でお餅つき!

秋の収穫に合わせ体験ツアーが盛んである。はじめて息子といっしょに参加させてもらった。森づくりやきのこ栽培のはなしなど。金子さんの牧場ではホルスタインやジャージー牛とのふれあいやバターづくりの体験をすることができ子供は大喜びであった。



雄大な自然に牛もノビノビ

訪れたこの付近は、加藤谷川の流域にあり、那須連峰の麓にある音金などは山への登山口としても知られ自然に恵まれているところである。

地域の南にある養鱒公園駅から南東へ行くとき行き止まりであるが、「観音沼森林公園」や「日暮の滝」を見ることができ、新緑や秋の紅葉の時期ともなるとアマチュア写真家の人気の場となっている。途中には「十文字」案内板があり昔の開拓の面影が忍ばれ、更にすすむと数軒のそば店が営業している。この地域は前からそばの産地として有名であり、猿楽台地として知られておりそば店も少しずつ増えているところである。

この付近一帯は以前、国によって大規模に開墾が行われた地域である。コメづくりを目的としてはじめたが、コメ余りから果樹のリンゴやブドウ、畑

の作物に変えたが土地が適さず長い間、放棄されたままとなっていたところである。

最近、企業により再生が始まり、ブロッコリーや高菜等がつくられ少しずつ変わろうとしている。

町では、退職者や農業を希望する人に住み着いてもらうための滞在できる市民農園を整備し地域の交流を図ろうとしている。農園の管理や農業の指導を地元で行いながら交流を深め、農業体験やグリーン・ツーリズムへと繋がることを期待されている。

いま、地元の行政区や山開き実行委員会、農業関係の組織との連携により加藤谷川流域に「いってみっぺ」、「やってみっぺ」、「すんでみっぺ」をスローガンに活性化への取り組みが始まっている。

農村整備部長 坂下幸男



加藤谷川流域の原風景

農林事務所からお知らせ

あなたも認定農業者になりませんか？

平成21年12月1日から平成22年2月28日まで、「福島県認定農業者育成確保運動第2期強化月間」です。

認定農業者とは、地域農業の担い手として、町から農業経営改善計画(5年間)の認定を受けた農業経営者、農業生産法人をいいます。認定を受け

ると、金融措置など各種支援を受けることができます。期間中は、より重点的に皆様からの相談の受付などを行います。詳しくは各町担当課または農業振興普及部(0241-62-5264)までお問い合わせください。

(農業振興普及部)

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林
検索
バックナンバーはこちら

ふるさとの心でつながる、食と農

ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

この広報誌は SOY(大豆油)インキを使用しています。